

# 道(知事部局)における障がい者の採用状況・受入体制等について

## 1 障がい者の職員採用の検討

### (1) 職員数に占める障がい者の状況

	へいせい ねん H 17	へいせい ねん H 18	へいせい ねん H 19	へいせい ねん H 20	へいせい ねん H 21	へいせい ねん H 22	へいせい ねん H 23	へいせい ねん H 24	へいせい ねん H 25	へいせい ねん H 26
知事部局職員数	19,777人	19,134人	17,174人	16,595人	15,624人	14,310人	14,171人	13,773人	13,491人	(13,317人)
障がい者数	444人	419人	411人	408人	394人	367人	346人	344人	324人	(312人)
実雇用率	2.25%	2.19%	2.39%	2.46%	2.52%	2.56%	2.44%	2.49%	2.40%	(2.34%)
法定雇用率	2.10%								2.30%	

(注) 知事部局職員数は法定雇用率の算定対象数。職員数及び障がい者数は6月1日現在。(H26は見込み)

	身体障がい者を対象とした採用選考試験実施年度									
	へいせい ねん H 17	へいせい ねん H 18	へいせい ねん H 19	へいせい ねん H 20	へいせい ねん H 21	へいせい ねん H 22	へいせい ねん H 23	へいせい ねん H 24	へいせい ねん H 25	へいせい ねん H 26
採用者数								5人	11人	

(注) 原則、試験実施の翌年度に採用

### <障がい者の採用に当たっての考え方>

- 道では、障がい者雇用を推進するため、職員の採用に当たっては、車イス受験者に対応した会場の選定や点字試験の実施など、身体に障がいのある方に配慮しており、障がいの有無や障がいの程度に関わらず、成績上位者から順に合格者を決定
- 法定雇用率の遵守及び障がい者雇用推進のため、必要に応じて障がい者に限定した選考試験を実施(昭和56年度以降、99人を採用)
- 法定雇用率の引き上げなどから、平成24年から毎年度選考試験を実施しており、昨年度は5名、今年度は11名を採用している

### (2) 今後の見込み

- 職員の年齢構成から、障がいを持つ者の定年退職が増加する見込み
- 道としても法定雇用率達成に計画的に対応



平成26年度以降も継続して採用選考試験を実施し、採用者の確保に努める

## 2 受入体制の整備

### ○採用試験における環境整備

- 視覚障害者に対する点字試験等の実施、車イス受験者に対応した会場の選定など

### ○研修受講時における環境整備

- 聴覚障害者に対する手話通訳者及び要約筆記者の配置
- 車イスの研修受講者に対応した会場の選定など

### ○職員に対する意識啓発

- 新採用職員研修における手話・車イス体験

- ・ しんにんかちょうきゅうけんしゅう しんにんしゅかんきゅうけんしゅう 新任課長級研修、しんにんしゅかんきゅうけんしゅう 新任主幹級研修におけるけんしき いしき こうじょう 見識や意識の向上（DVD上映）でいふいでいじょうえい

## ○ちょうしゃ 庁舎におけるかんきょうせいび 環境整備

- ・ しつむしつない 執務室内のレイアウト変更などによるへんこう 導線やどうせん つうろはば 通路幅の確保かくほ
- ・ ちょうしゃでいりぐち 庁舎出入口のだんさかいしょう 段差解消（だんさ 段差がある場合は、ばあい スロープ等設置なごせっち）
- ・ ちょうしゃでいりぐち 庁舎出入口にゆうどうようゆかざい 誘導用床材（てんじ 点字ブロック）の敷設及びおんせいあんないそうち 音声案内装置の設置せっち
- ・ エレベーターに、しかくしょうがいしやおよ 視覚障害者及びくるま 車イス利用者用のりようしやよう 制御盤、せいぎよばん 点字案内版を設置てんじ あんないばん
- ・ たきのう 多機能トイレ、しょうがいしやゆうせん 障害者優先トイレの設置せっち
- ・ しょう 障がいのある職員が、しよくいん 車を利用する場合には、くるま 構内駐車スペースを確保りよう ばあい こうないちゆうしや